

## 最新のロボット研究学ぶ

飯塚 九工大で高校生向け科学教室



ロボットアームに青いボールを差し出す高校生

高校生向け科学教室「ひらめき ときめきサイエンス」が2日、飯塚市の九州工業大情報工学部で始まった。初日は「ロボット技術から学ぶ人間の不思議」と、コンピューター計算を学ぶ「コンピューティションへの誘い」の2講座があり、九州各県や広島、山口県の高校生計24人が参加した。

ロボット技術では、林英治教授（知能ロボット）から最新のロボット研究などの説明を受けた。

続いて大学院生がピアノを自動演奏するロボットな

どを紹介。大学院生の小池将斗さん(23)は、ベットのよなロボットアームを説明した。このロボットは、カメラで見た物を判断し、好きな緑のボールをつかもうとし、嫌いな青のボールからは逃げる。

このロボットを体験した北筑高3年の阿部奈津希さん(17)は「とても面白い。大学で情報工学を学びたいので実感できてよかった」と話した。

教室は3、9日もある。参加募集は終了している。

(野津原広中)